

2016年夏期セミナープログラム（2017年4月3日現在）

統一テーマ：「家政学の未来を創る 家政学が描く人間像

—家政学は生活主体にどのように働きかけるのか—（仮題）」

テーマ趣旨説明

部会長 八幡（谷口）彩子（熊本大学）

2017年夏期セミナーにおける統一テーマは、「家政学の未来を創る 家政学が描く人間像—家政学は生活主体にどのように働きかけるのか—（仮題）」とさせていただきます。

これまで家政学では、生活主体を表す用語として、個人、家族、消費者、生活者、主婦、市民など、いくつかの用語が使われてきました。これらの生活主体に関する用語の概念は、共通する点も多い一方、微妙に異なる人間像を含んでいます。また、そうした人間像の相違により、家政学は生活主体にどのような働きかけを行っていくのか、という生活主体へのアプローチの方法が異なってきます。

折しも、次期学習指導要領に向けた動きの中で、家庭科で育むべき「資質・能力」とはどのようなものなのか、どのように学ぶのか、という家庭科が目指すべき人間像と学び方（方法論）が議論されています。また、（一社）日本家政学会の家族・家庭生活アドバイザー（仮称）検討委員会（原論部会からの代表委員は正保正恵常任委員）による資格認定のためのパイロット事業が家政学原論部会夏期セミナーの直前、8月18日・19日に開催されます。

意外なことに、50年近くに及ぶ家政学原論部会の夏期セミナーの歴史において、家政学の人間像と生活主体への働きかけ方について、統一テーマとして取り上げられたことはほとんどありません。そこで、家族、消費者、生活者などの概念について、歴史的・国際的な視点からも理解を深めるとともに、家政学と生活主体との関係性を考えるためのパネルディスカッションを行います。

2018年には、家政学原論部会は設立50周年を迎えます。2018年8月に開催を予定している設立50周年記念セミナーでは、2017年夏期セミナーの成果を踏まえて、家政学原論部会以外の方にもご参加いただき、私たちが家政学を学び、研究することの意義を幅広く考える機会を持ちたいと思います。

家政学原論研究に新たな視点を加えることができますよう、積極的に議論に加わっていただきますよう、お願い申し上げます。

■日 時：2017年8月20日（日）9：00～16：30

■会 場：筑波大学 東京キャンパス 1階 119講義室

■会 費：部会員 3,000円 学生会員 1,000円 非会員 4,000円

■プログラム（案）：

8月19日（土）17：00～20：00 新旧役員会

8月20日（日）

8：30～ 受付

9：00 開会の辞

9：00～10：00 総会ならびに家政学原論部会名誉会員証授与式

10：00～10：50 行動計画進捗状況報告ならびに50周年記念事業について

10：50～11：20 わたしの家政学原論〈シリーズ12〉

11：20～12：00 研究発表（発表15分、質疑応答5分）

12：00～13：00 昼食（シンポジウム事前打ち合わせ）

13：00～15：30 シンポジウムテーマ：家政学が描く人間像

—家政学は生活主体にどのように働きかけるのか—（仮題）

※家族、生活者、消費者、などの人間像に家政学はどのように働きかけていくことが可能なのか、5名のパネリスト（現在交渉中）からお話いただく予定です。

15：30～16：30 総合討論—家政学は生活主体にどのように働きかけるのか—

16：30 閉会の辞

## 夏期セミナー会場 筑波大学 東京キャンパスへの交通アクセス

所在地 〒112-0012 東京都文教区大塚 3-29-1

東京メトロ丸の内線茗荷谷駅下車「出口1」徒歩5分程度

大学ホームページ [http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo\\_access.html](http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html)

